

ソリューションセッション① 「RPA案件、発掘の方法とは？」

柴田 英樹 氏

富士フイルムホールディングス株式会社
経営企画部 IT企画部長

山頭 理 氏

大日本印刷株式会社
情報イノベーション事業部 情報化推進部 部長



アジェンダ

1. イントロダクション
2. 自己紹介およびRPAの取組概要
3. 質問・討議
4. クロージング

アジェンダ

1. イントロダクション
2. 自己紹介およびRPAの取組概要
3. 質問・討議
4. クロージング

アジェンダ

1. イントロダクション
2. 自己紹介およびRPAの取組概要
3. 質問・討議
4. クロージング

富士フイルムホールディングス株式会社

経営企画部 IT企画部長 柴田 英樹 氏

1. RPA導入背景/時期

2017年度：

BPR・RPA活用の組み合わせ推進によって種々の業務の効率化に効果があり、その適用領域が膨大にあることを実証

2018年度：

急加速できる取り組みで、グループ全体に拡大

2. 現在の取り組み状況

- ・部門横断的に推進する組織体制でスピーディに課題解決・効果創出する活動を継続
- ・トップダウンアプローチ(重点プロジェクト化)とボトムアップアプローチ(部門主導)を併用

大日本印刷株式会社

情報イノベーション事業部 情報化推進部 部長 山頭 理 氏

1. RPA導入背景/時期

2017年11月より、社内の業務革新に関わる活動の一つとして事業部全体へのRPA導入を推進中

2. 現在の取り組み状況

導入期間1年半のプロジェクトを設置。四半期毎に削減時間の目標を決めて導入推進中（現在、4四半期目）

アジェンダ

1. イントロダクション
2. 自己紹介およびRPAの取組概要
3. 質問・討議
4. クロージング

質問・討議

1. 誰が、どのように要件定義するか?
2. RPA化の判断基準は?
3. 開発担当は誰か?

質問・討議

1. 誰が、どのように要件定義するか?

富士フイルムホールディングス株式会社

全社改革推進組織主導と部門主導による
双方でのアプローチ

質問・討議

1. 誰が、どのように要件定義するか?

大日本印刷株式会社

ユーザー主体のアプローチ
(プロジェクトチームによる支援と一部案件の実施)

質問・討議

2. RPA化の判断基準は?

富士フイルムホールディングス株式会社

“真水”の削減効果を狙い
徹底した投資対効果(P/Lベース)で判断

質問・討議

2. RPA化の判断基準は?

大日本印刷株式会社

1 件毎の削減工数だけでなく
期間の目標削減時間の達成で判断

質問・討議

3. 開発担当は誰か?

富士フイルムホールディングス株式会社

情報システム子会社とユーザーによる
双方でのアプローチ
(使い分けの基準は開発難易度)

質問・討議

3. 開発担当は誰か?

大日本印刷株式会社

情報システム子会社による
集中開発

アジェンダ

1. イントロダクション
2. 自己紹介およびRPAの取組概要
3. 質問・討議
4. クロージング

クロージング

参加者へのメッセージ

富士フイルムホールディングス株式会社

- 現場の業務を把握しているキーマンの巻き込み
- “業務プロセス”の効率化・自動化の視点
- ライセンス契約、基盤整備、PMOなどCoEの機能・役割

クロージング

参加者へのメッセージ

大日本印刷株式会社

- ユーザー部門の導入障壁を取り除き、参加意識を高める
- 増えていく対応部門に過去の事例や進め方の情報をノウハウとして共有することも有効
- 構築、導入と並行してロボットの維持、管理体制も整備
- 自社の風土や組織にあった進め方が継続の鍵では

THANK YOU!

#UiPathForward Japan

TOKYO, THE PRINCE PARK TOWER TOKYO

Accelerate Everything
日本の自動化を、前へ。

